

研究部会 活動報告書（2024年度）

研究部会の名称

廃棄物試験・検査法研究部会

研究部会の活動目的

廃棄物や循環資源の試験・検査に日常的に関わっている会員相互の意見・情報の交換から、廃棄物試験・検査法に係る新たな調査研究テーマの発掘、共同研究の実施、新規試験・検査法の開発・検討・規格化等を目的とする。

研究部会の設置期間 年のうち、今年度は 年目

当該年度の活動実績

活動実績を冊子体などにまとめている場合は、それを提出してください。
そうでない場合は、以下に活動実績を記述してください。

- ① 年次研究発表会における企画セッション設定の有無 （ ☒ 有 ☐ 無 ） ←どちらかに○
（「有」の場合 ⇒ 企画セッション名とその概要と総括）

企画セッション名：

「環境流出プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」

セッションの概要と総括：

- ・開催日時：2024/9/11(水) 10時45分～12時15分
※全国環境研協議会研究発表会の第2部として開催
- ・開催方法：会場＋オンライン開催(Zoomミーティング)。
- ・参加者数：80名程度(会場＋オンライン)
- ・内容：環境流出プラスチックごみに対する最近の国の動向、国立環境研究所(国環研)と地環研で実施している共同研究、河川マイクロプラスチック調査ガイドラインの改定についての話題など、4名の講師から講演を頂いた後、質疑応答を行った。
鈴木剛氏(国立環境研究所)：プラスチック汚染をめぐる環境省の対応方針等の紹介
朝倉賢氏(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)：国環研と地環研のII型共同研究の第1期成果および第2期の取組について
近藤美麻氏(大阪府立環境農林水産総合研究所)：大阪の河川水中に含まれるマイクロプラスチックの調査事例
金子紋子氏(環境管理センター)：河川マイクロプラスチック調査ガイドラインの改定について

② 研究部会独自の活動について

定例研究会やシンポジウムの開催の有無やその概要、出版活動などについて(必要に応じて、自由書式で別紙を添付してください)。

学会受託調査「令和6年度産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法検討業務」への協力

- ・「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」(環告13号)の改正に向け、調査検討を実施。主な検討内容は、JIS K 0102規格群の改正(分冊化)を受けた整合・相違点の調査、JIS改正により除外される分析方法に対する分析機関のニーズの調査、六価クロム分析方法の検討(鉄共沈法)、小型蒸留装置の適用性検討(ふっ素、シアン化合物、フェノール類)、告示改正案の検討、精度管理調査(共同試験)の設計。
- ・検討委員会、事務局に本部会員若干名が参加・運営。
- ・第1回検討委員会を2024/10/11(金)、第2回検討委員会を2024/12/18(水)、第3回検討委員会を2025/3/7(金)に開催した。
- ・報告書を取りまとめ、3月末に環境省に提出した。